

Press
Release株式会社テルミック 
tel-mic.co.jp

ものづくりのエンターテイナーをめざす「テルミック」。

誰もが働きやすい製造現場へ
現場の声を反映したコンベア改修を実施

「ものづくりのエンターテイナー」として業界をリードし、革新的な取り組みを進める金属部品加工の株式会社テルミック（本社：愛知県刈谷市小垣江町永田47番地、代表取締役社長：田中秀範）。「できたらいいな」に果敢にチャレンジするのはもちろん、スピード感を持って実現し続けています。

このたび、常滑工場 常滑検査・出荷センターのコンベアを改修し、業務効率化と作業負担の軽減を図りましたので、ご紹介します。

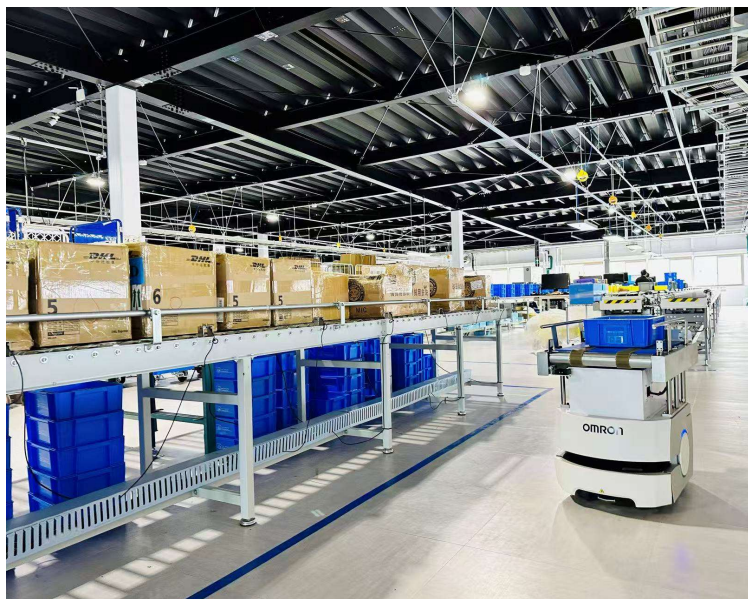


現場の「もうちょっと…」をカタチに

常滑工場 常滑検査・出荷センターでは、主に中国から毎日50～100箱の荷物が届きます。1箱あたり20～25kg重さの箱には大切な部品が納められており、一つひとつ開いて中を確認め、お客様のもとへ滞りなく届けるための出荷作業までを行うのがセンターの役割です。工場内では、これまでも無人搬送用ロボットや協働ロボットを導入し、省力化を進めてきましたが、より誰もが働きやすい職場を目指し、現場で活躍する従業員の声を反映しながら、コンベア設備の改善に取り組みしました。今回は、作業負担の軽減と作業効率の向上を目的に、3つの改善を実施しています。

①コンベアの高さ調整

コンベア自体の高さを従来よりも低く設定しました。これにより荷物を持ち上げる動作が軽減され、無理な姿勢をとることなく作業できるようになり、作業性と安全性の向上につながりました。



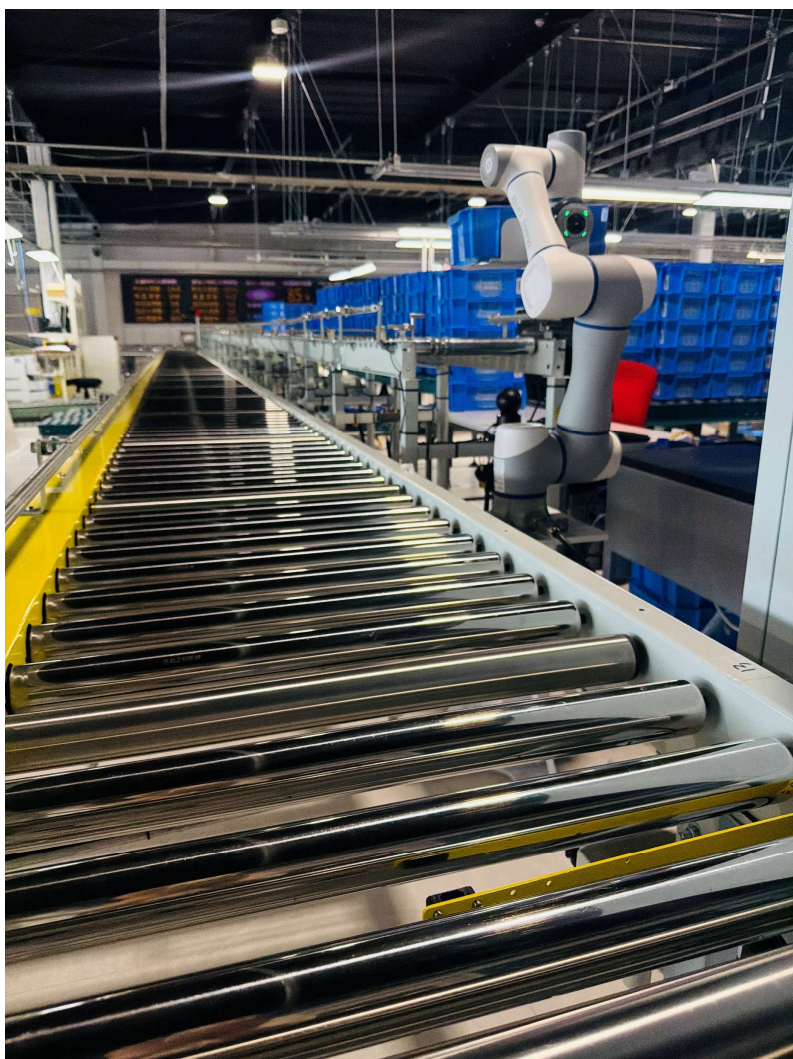
<コンベアの高さ 左（ビフォー）：約900mm（ガイド含む）・ 右（アフター）：740mm>

②センサ位置の変更

荷物搬送を検知するセンサの設置位置を見直し、コンベアのローラー下へ移設しました。これによりライン横のガイドを取り払うことができ、荷物の移動や作業者の動線がよりスムーズになりました。

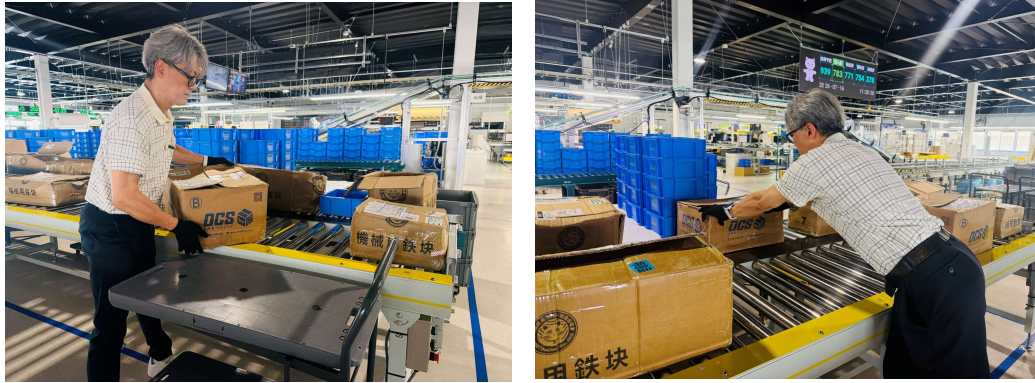
③ゴム式からチェーン式へ

従来のコンベアは、モーター1本でゴムを介して周囲のローラーを回す方式でしたが、荷重に負けて動作が不安定になることがありました。新設備では、自転車チェーンと同様のチェーン式を採用。動力が確実に伝達されることで、搬送の安定性が向上し、重い荷物もスムーズに移動できるようになりました。



現場で活躍する従業員がより働きやすく

多くの女性従業員が活躍しているテルミック。今回の改善は、現場で働く従業員の声を取り入れ、より働きやすい環境づくりを目指して実施しました。例えば、コンベアの高さを従来よりも低くしたことで、荷物の持ち上げが楽になっただけでなく、小柄な従業員が箱の中身を確認する際に、背伸びをするように身を乗り出して中身を上からのぞき込んでいたところ、いつもの立ち姿で中を確認られるように。



また、場内ですでに活用されている台車とコンベアの高さを揃えたため、箱をスライドさせて持ち上げずに台車に乗せ替えられます。さらには、必要各所に角度を微妙に調整した鉄の板を設置し、ラインの乗せ替えもスライド動作で済ませられるようになっています。

このほか、今回の改修に合わせて場内レイアウトの見直しを行うとともに、自動搬送ラインを新たに設計・設置するなどの工夫も加えました。これらの取り組みにより、現場の負担軽減と作業効率向上の両立を図っています。

自社リソースを活用し、スピーディに改善！

今回の設備刷新は、現場の声を丁寧に拾い上げて「誰もが働きやすい製造現場」を目指すテルミックならではの取り組みの一環です。実際に現場で働く女性社員からは「箱も自分も、ガイドにぶつからなくて安心」「箱を持ち上げなくてラク」といった声が上がっています。また、業務課題が見つかれば、すぐに改善に向けての挑戦を始めるのもテルミックらしさ。今回の改修に関しては、プランニングから実施まで2ヵ月弱というハイスピードで実現させています。このハイスピードが可能なのは、自社および中国の子会社との日ごろからの連携で、設計はもとより必要な部品についてもすぐに手配できる体制を整えているからこそです。部品製作には、常滑工場内の3Dラボも活用しています。

これからもテルミックは、現場の安全性向上、作業効率化や作業負担軽減を実現させていきます。直近では人型ロボットの導入・作業連携も視野に入れています。また、自社従業員だけでなく、物流・配送に携わる方々の負担軽減につながる取り組みも検討しています。DX推進と現場改善を通じて、より持続可能な製造現場の実現を目指すテルミックの今後の挑戦にご期待ください。

是非、貴社媒体での掲載のご検討をお願いいたします。
ご不明な点がございましたらお気軽にお尋ねくださいませ。



新事業 LEDデジタルサイネージ

工場見学で高い関心を集めているLEDデジタルサイネージを、社外向けサービスとして本格展開。

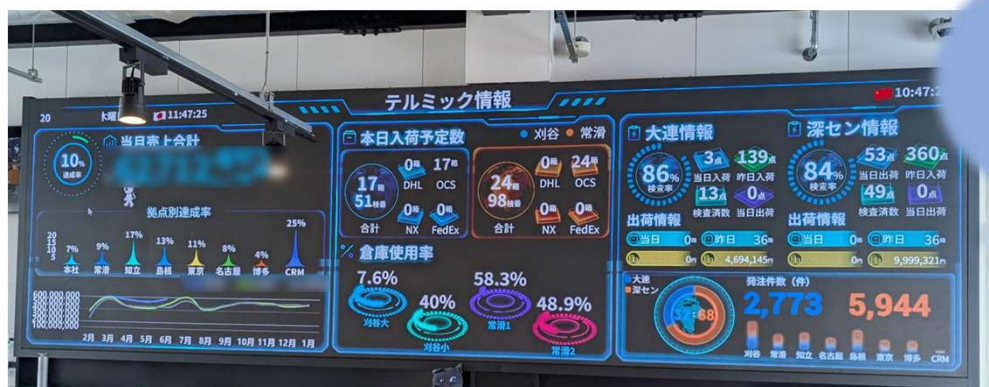
データ活用による見える化、社内情報共有の効率化など、現場のDX化を支援します。

ディスプレイ設置からコンテンツ開発、運用まで一貫して対応します！

直径約
3.16m
円筒形



ヨコ
6.08m
×
タテ
1.76m



名古屋市港区に新拠点 Coming Soon!

新拠点「名古屋みなとオフィス」では、部品加工のご相談はもちろん、見て・触って・体感できるLEDデジタルサイネージショールームを完備しています。

実際の展示や運用事例をご覧くださいながら、製造現場におけるDX活用のヒントや情報の見える化の可能性を体感いただけます。

セミナーや情報発信の機能も備え、ものづくり企業の新しい交流拠点として展開していきます！



LEDデジタルサイネージに
関するお問合せ先

株式会社テルミック
◎メール：led-sinage@tel-mic.co.jp



会社見学随時受付中！



当社では、工場見学の受け入れを積極的に行っています。

工場見学では、金属部品加工の現場に加え、DXを活用した取り組みや、業務効率化に向けた改善事例などを実際にご覧いただけます。

2025年 3693 社 が来社

学生も参加OK！ 様々な方が訪問しています

来社満足度

99%

参加者数

約1.4倍UP

(昨年比率)

総合評価



4.83 高評価



現場のリアルな取り組みを体感いただける点が、高い評価につながり

2024年には2,729社、2025年には3,693社と、

国内外から多くの企業・団体の皆さまにご来訪いただきました。

今後もテルミックは、業種・規模・国籍を問わず、より多くの皆さまに工場見学へお越しい

ただけるよう受け入れ体制の充実を図り、

ものづくりの魅力やDXの実践事例を広く発信してまいります。



カタイ会社が始めたカタくないラジオ番組

ワクワク・トークで^(電波)絶賛オンエア中!



テル★ラジ



毎週水曜日 14:00~14:45

Pitch FM83.8

業界を元気に!
地域を元気に!
日常に元気を
お届けする
メディアです。

番組概要

◆番組名◆

カタイ会社のカタくない話ものづくりの
エンターテイナーテルミックがお届けする
「テル★ラジ」

◆放送局◆

Pitch FM (ピッチエフエム)83.8MHz

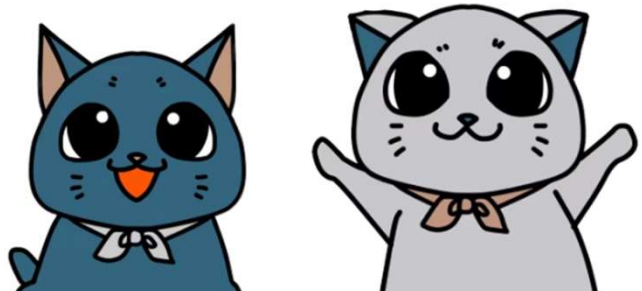
※碧海5市(碧南・刈谷・安城・知立・高浜)と
その周辺を放送エリアとする ラジオ局

◆放送日時◆

毎週水曜日14:00~14:45

◆聴き逃し配信(アーカイブ)◆

[ポッドキャスト:Spotify](#)



刈谷本社前 自社ラジオブース「テルミックスタジオ」より元気にOA中!

＼各種SNSでは様々な情報を発信中!／



@tel_mic



@tel_mic_



@tel_mic_

このリリースに
関するお問合せ先

株式会社テルミック (担当 : 石井)

◎電話 : 0120-1-10639 ◎FAX : 0569-34-8788

◎メール : kouhou@tel-mic.co.jp